

地方道路交付金事業の事後評価について

対象事業	北秋田地域における防災総点検による危険箇所を解消を図る道路整備
事業の目的	平成8、9年度に実施された道路防災総点検において、危険とされた箇所の解消を図るための道路整備を行う。
事業期間	平成16年度～平成18年度
対象路線	達子森合線(大館市)、湯口内線(北秋田市)



成果目標（アウトカム） 防災総点検における危険箇所への対策率の向上

$$(\text{対策率}) = (\text{対策完了箇所}) \div (\text{同路線での要対策箇所数、防災カルテによる監視強化箇所数の合計}) \times 100$$

目標値

当初現況値	中間目標値	長期目標値
0% (H16当初)	50% (H17末)	50% (H18末)

事業の進捗状況

事業は計画どおりに進捗し、達子森合線については平成16年度に完了、湯口内線は平成17年度に喜鵲橋が完成しています。平成18年度に、喜鵲橋の旧橋を解体し、事業完了となりました。

成果目標の達成状況

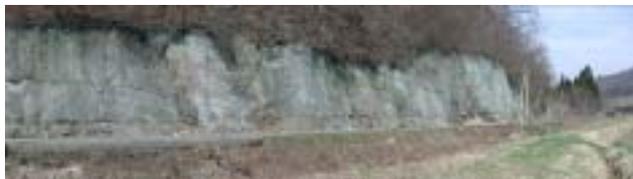
長期目標値	長期実績値
50%	50%

計画どおり進捗しており、目標値どおりの実績となっています。

整備事例

達子森合線

整備前



整備後



達子森合線の当該区間において、法面からの落石危険箇所があり、危険箇所を回避する線形に改良することにより、通行の安全性、走行性が改善されています。

湯口内線(喜鵲橋)

整備前



整備後



旧喜鵲橋は、老朽化と橋脚の洗掘により危険な状態でしたが、新橋の完成により安全かつ円滑に通行できるようになりました。